

2025年11月11日（火）発表

愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

芸術情報・広報課（担当：橋川・加藤）

Tel.0561-76-2873 / Fax.0561-62-0083

E-mail. geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

須貝旭個展「落葉抄RACVYOXO」

このたび、サテライトギャラリーSA・KURAにおいて、本学大学院美術研究科博士後期課程の修了生、須貝旭個展「落葉抄 RACVYOXO」を開催いたします。

時間とともに銀箔が錆び、写真の感光剤が色褪せ、画面上のイメージが少しずつ変化していく。それは時間の経過を可視化する装置でもある。

《RACVYOXO》は、長崎県南島原市でのリサーチをもとに制作した作品である。この地ではおよそ430年前、宣教師によって日本で初の西洋式活版印刷機が持ち込まれ、書物が刊行されたという。外国人宣教師が日本語を学ぶために、また日本人がポルトガル語に触れるために、さまざまな辞書が編まれた。『落葉集』と『日葡辞書』はその系譜を汲む書物である。

辞書は異なる言語をつなぐ道具とも考えられるだろう。ことばを文字として残すことで、私たちは過去のひとびとの思考を辿り、自らの痕跡を未来へ伝えることができる。しかし、ことばの意味は時代とともに少しずつ変化もしていく。

今回、これらの辞書から抜き出した文字に、現地で撮影した風景を重ねることで、書物に残る過去の記録と自身が滞在した現在の記憶を一つの画面に照らし合わせることを試みた。移ろうことばの意味をのせて文字が時代を伝えるように、作品もまた少しずつ姿を変えながら、未来へと手渡されていく。

多くの方にご覧いただきたく、是非ともお取り上げいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

タイトル 須貝旭個展「落葉抄RACVYOXO」
会場 愛知県立芸術大学 サテライトギャラリーSA・KURA
住所: 〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-9-19成田栄ビル地下1階
Tel: 052-212-9316 E-mail: satellite-gallery@mail.aichi-fam-u.ac.jp
URL: <https://aia-sakura.com/index.html>
主催 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学
助成 公益財団法人あいちFG教育文化財団 公益財団法人野村財団
協力 南島原市アートビレッジ・シラキノ
展示期間 2025年12月20日(土)～1月18日(日)
※月曜・火曜・年末年始(12/27～1/6)冬季休廊
※祝日の場合は開廊、翌平日休廊
(1/12(月・祝)開廊、1/13(火)1/14(水)閉廊)
開廊時間 12:00～19:00
観覧料 無料
イベント トークイベント2025年12月20日(土) 17:00～18:00
塚本麻莉(高知県立美術館 主任学芸員)×須貝旭
問合せ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 Tel: 0561-76-2873



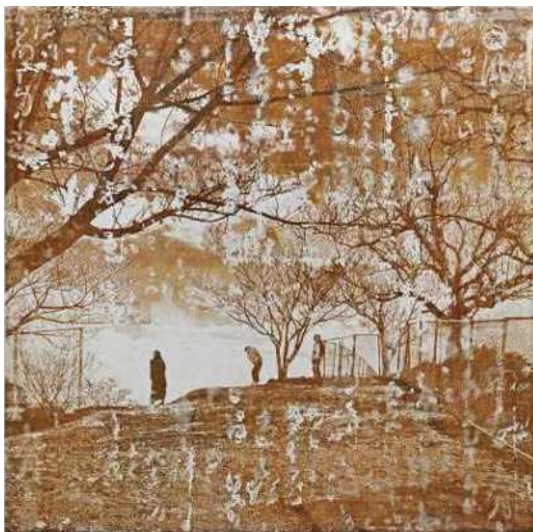
これまでの作品



RACVYOXO (waves)

36.0 × 36.0cm

アーギロタイプ、アクリルメディウム、オイル、銀箔、パネル



RACVYOXO (wind)

24.0 × 24.0cm

アーギロタイプ、アクリルメディウム、
オイル、銀箔、パネル

作家略歴

- 2014 愛知県立芸術大学 油画専攻 卒業
- 2016 愛知県立芸術大学院 博士前期課程 油絵版画領域 終了
- 2017 School of the Museum of Fine Art at Tufts University (ボストン) 滞在留学
- 2020 愛知県立芸術大学大学院 博士後期課程 油画版画領域 修了

個展

- 2024 「類推の湖」 RED AND BLUE GALLERY、東京
- 2022 「彗星考」 L gallery、愛知
- 2019 「これから来る過去、通り過ぎた未来、おぼろげな今」 Gallery Valeur、愛知
- 2017 「e.g.o 0059 須貝旭 展」 大雅堂、京都

主なグループ展

- 2025 「星月夜」 L gallery、愛知
- 2023 「Interface」 HRDファインアート、京都
- 2021 「青の時間を纏う椅子・緑の光を纏う椅子」 Light Gallery、愛知
- 2020 「Framework」 HRDファインアート、京都
- 2017 「The Drawn World」 タフツ大学美術館芸術学部、ボストン
- 2017 「美大生展」 SEZON ART GALLERY、東京

滞在制作

- 2025 南島原市アートビレッジ・シラキノ、長崎
- 2019 AGA LAB レジデンスプログラム、アムステルダム

主な受賞歴

- 2025 「2025年度下期芸術文化助成」 野村財団
「第36回助成」 公益財団法人 あいちFG教育文化財団
- 2023 「キャリアアップ支援助成」 クリエイティブ・リンク・ナゴヤ
- 2022 「展覧会・演奏会 GOTO アート助成」
一般財団法人 後藤欣之輔・美智子 世の中に貢献する人を育てる協会
- 2017 「第34回研究助成」 公益財団法人日東学術振興財団
- 2016 「平成28年度奨学生」 公益財団法人堀田育英財団
- 2015 「第30回ホルベインスカラシップ」 ホルベイン画材株式会社

須貝 旭 SUGAI Asahi

2025 12.20 sat ... 2026 1.18 sun

12:00...19:00 — 観覧無料

月曜・火曜休廊 祝日は開廊、翌平日休廊
——12.27(土)…1.6(火)冬季休廊

トークイベント

12.20(土) 17:00...18:00

塚本麻莉(高知県立美術館 主任学芸員)×須貝旭

RACVYOXO 落葉抄

時間とともに銀箔が錆び、写真の感光剤が色褪せ、画面上のイメージが少しずつ変化していく。それは時間の経過を可視化する装置でもある。

《RACVYOXO》は、長崎県南島原市でのリサーチをもとに制作した作品である。この地ではおよそ430年前、宣教師によって日本で初の西洋式活版印刷機が持ち込まれ、書物が刊行されたという。外国人宣教師が日本語を学ぶために、また日本人がポルトガル語に触れるために、さまざまな辞書が編まれた。『落葉集』と『日葡辞書』はその系譜を汲む書物である。

辞書は異なる言語をつなぐ道具とも考えられるだろう。ことばを文字として残すことで、私たちは過去のひとびとの思考を辿り、自らの痕跡を未来へ伝えることができる。しかし、ことばの意味は時代とともに少しずつ変化もしていく。

今回、これらの辞書から抜き出した文字に、現地で撮影した風景を重ねることで、書物に残る過去の記録と自身が滞在した現在の記憶を一つの画面に照らし合わせることを試みた。移ろうことばの意味をのせて文字が時代を伝えるように、作品もまた少しずつ姿を変えながら、未来へと手渡されていく。

SAKURA
AUA GALLERY

〒461-0005

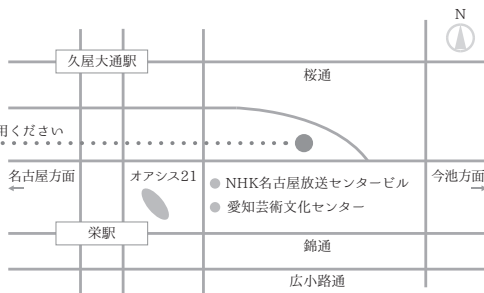
名古屋市東区東桜 1-9-19

成田栄ビル地下1階

TEL:052-212-9316

aua-sakura.com

エレベーターをご利用ください
地下1F



地下鉄東山線「栄駅」徒歩6分、地下鉄桜通線・名城線「久屋大通駅」徒歩7分

主催 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学 〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1-114

助成 公益財団法人あいちFG教育文化財団

お問合せ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課

TEL:0561-76-2873 (平日9:00~17:30)

<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

協力



愛知県立芸術大学